

令和元年度第3回 かまいし絆会議結果報告

令和2年2月7日(金)13:30～16:30

釜石市民ホールTETTOホールB



結果概要

今回のかまいし絆会議は、秋田県大館市との児童・生徒交流会として、交流を通して、リーダーに必要な意識を学び、より良い学校や地域づくりをしようとする意識を高め、かまいし絆会議の活動のあり方を深めることを目的として開催されたもの。

かまいし絆会議の活動紹介、大館子どもサミットの活動紹介が行われた後、グループ交流会において、各校の児童会・生徒会の取組を紹介しながら、地域のために何ができるかについて話し合いを通して交流を図った。

発表内容 [釜石中学校区：釜石小・双葉小・小佐野小・釜石中]

◎前回の検討結果

- (1) ①いつも盛り上がりのある町→②釜石と言えば○○というような展覧会を開く。
 - (2) ①人々がもっと交流できる町→②伝統文化を広げる。※釜石小→虎舞、双葉小→神楽、小佐野小→鹿踊り
 - (3) ①子ども達が遊べる安全な町→②自分達で遊具を作る、色を塗り変える、アスレチック公園を作る。
 - (4) ①みんなが挨拶できる町→②地域を巻き込みながら挨拶運動をする。
 - (5) ①みんなが笑顔でいられる町→②地域ごとにスタンプラリーをする。
 - (6) ①助け合いができる町→②小中連携した助け合いの取組みをする。
 - (7) ①ラグビーで盛り上がる町→②小中学校毎にタグラグビーに取組み、中学校にラグビーチームを創る。シーウェイブスの選手と交流する。
 - (8) ①海外の人と交流する町→②外国語で挨拶運動して海外の人と仲良くする。
-

◎今回の検討結果

- (1) **みんなが挨拶できる町**にするために、大館市東中学校での取り組みを参考に、
あいさつピラミッドを活用して、1ヶ月間挨拶チェックカードに取り組み内容を
記入し振り返りを行いながら、挨拶運動の取り組みをさらにレベルアップさせる。
- (2) **ラグビーで盛り上がる町**にするために、タグラグビー交流会を開催する。
 - ・取り組み日時:未定
 - ・場所 : 釜石鵜住居スタジアム（予定）
 - ・取り組み内容 : 各小中学校でチームを作り、トーナメント戦で戦う。
中学校区を越えて市内全小中学校の取り組みとし、選手以外は観戦や応援として
参加する。



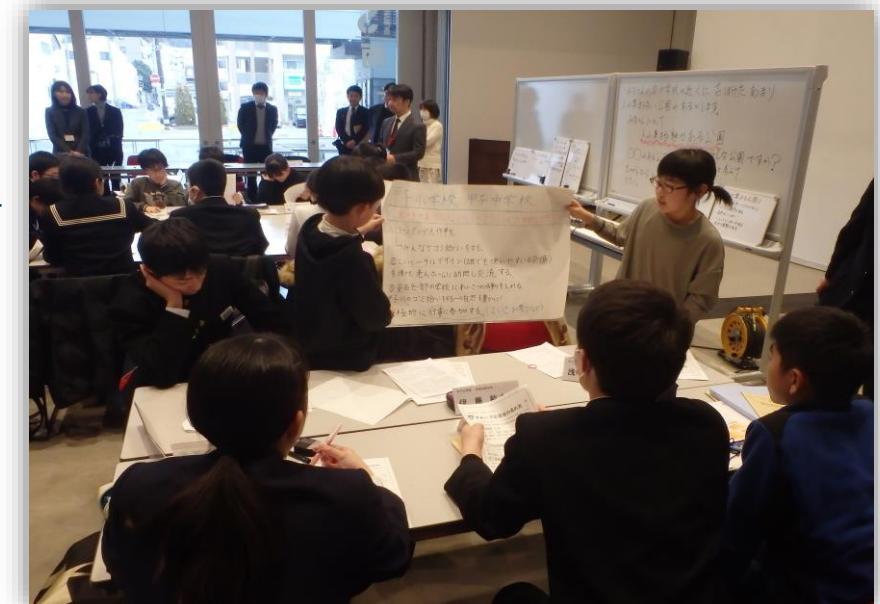
発表内容 [甲子中学校区：甲子小・中]

◎前回の検討結果

- (1) ①ごみが無いきれいな町→②クリーンアップ大作戦の実践。
- (2) ①お年寄りに優しい町→②ユニバーサルデザインにより誰でも使いやすい施設を増やす。
老人ホームを訪問し、交流する。
- (3) ①魅力のある町→②釜石市内全小中学校に挨拶の活動を入れる。甲子川のゴミ拾いをして、自然を豊かにする。
- (4) ①よしさが受け継がれている町→積極的に行事に参加する。

◎今回の検討結果

- (1) 地域の清掃活動や行事に参加する。
→・小中合同でクリーンアップ作戦を行い、中学生の地区長がリードして
地区ごとに分かれて活動する。
・有志を募り、よしさに参加する。
- (2) お年寄りに優しくすることに力を入れていく。
→有志を募り、老人ホームで合唱を披露する。



発表内容 [唐丹中学校区：唐丹小・中]

◎前回の検討結果

- (1) ①環境破壊をしない町→②ゴミ拾い、ゴミ箱の設置について、広報かまいしに載せる。
各学校で当番を決め、手紙を書く。
 - (2) ①RWCの盛り上がりや他国との繋がりを継続できる町
→②市の行事に小中学生が積極的に参加する。小中学生から市に行事を提案する。
 - (3) ①人口減少を防止できる町→釜石の良いところをまとめ、広報かまいしに載せる。
 - (4) ①住みやすい町→小中学生が積極的に企画、参加する。
-

◎今回の検討結果

- (1) 環境破壊をしない町にするためにゴミ拾いを行う。
→既に年2回取り組んでいる清掃活動について、年3回
(4月、7月、11月)に回数を増やして取り組む。
2回は小中合同で、1回は中学校のみで行い、地域の方にも
周知して協力してもらいながら、部活の時間に遠く広い
範囲を実施する。
- (2) 釜石のPRに貢献する
→釜石のPRパンフレットを作成し、修学旅行で配付する。



発表内容 [大平中学校区：白山小・平田小・大平中]

◎前回の検討結果

(1) ①ラグビー、鉄、防災、挨拶運動で全国から注目される町

→②挨拶で交流を深める。

避難訓練を真剣にする。ラグビーイベントを行う。鉄の歴史について学び、本にする。

◎今回の検討結果

(1) タグラグビー交流大会をクラス対抗で行う。

(2) 月1回学校周辺のゴミ拾いを地区ごとに分かれて、小中合同で行う。挨拶運動も地区ごとに分かれて小中合同で行い、地域の方と交流を深めながら、元気と笑顔を届ける。



発表内容 [釜石東中学校区：鵜住居小・栗林小・釜石東中]

◎前回の検討結果

- (1) ①震災のことをしっかり受け継ぐ学校防災意識の高い町
- (2) ①明るく人々の繋がりが強い町
- (3) ①清潔で気持ちよくなる町
- (4) ①地域と繋がりが持てるあたたかい町

↓

[校内できること] 各委員会が学校や地域との繋がりを持つためのイベントや取り組みを提案する。月1回自分達でスクールバスを掃除する。

[地域での活動] クリーン作戦をして町を綺麗にする。地域行事に参加する。学校の伝統を老人ホームで披露して地域と繋がりを持つ。

[普段できること] 挨拶でコミュニケーションをとることは、町の変化に気付くことにもつながり、避難する時に役立つ。

[防災意識を高めてなくさないようにする] 震災の教訓を語り継ぐことで、次の震災に活かす。

◎今回の検討結果

- (1) 震災のことをしっかり受け継ぐ学校防災意識の高い町にするために、
てんでんこレンジャー訪問、クロスロード、オリジナル看板作りを通して、
震災を知らない小学1年生等に震災のことをしっかり受け継いでいく。
- (2) 清潔で気持ちよくなる町にするためにスクールバスの清掃を行うほか、日時を
決めて小中合同で学校の周りをきれいにすることを目的にクリーンアップ作戦
を実施する。
- (3) 地域と繋がりが持てるあたたかい町にするために、小中学校のほかに、
地域の方を招いて、レクリエーション開催する。

